

六甲摩耶鉄道安全報告書

2006年度版



この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全の確保のための取組みや安全の実態をまとめたものです。

1. 利用者のみなさまへ

当社の鉄道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠に有難うございます。当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。みなさまからの声を輸送の安全に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

六甲摩耶鉄道(株) 取締役社長 今西 淳二

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全方針」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

安全確保の最優先が鉄道事業者の使命であることを深く認識し、社長及び役員・社員一同、安全確保に最善の努力をつくす。

輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。

安全管理体制を適切に維持するために、不断の確認を励行する。

(2) 安全目標

当社は、平成12年10月1日から平成17年9月30日まで5ヶ年の間、責任事故が皆無であり、運転保安業務に優秀な成績をあげたことにより平成17年10月7日に国土交通省より表彰され、現在におきましても社長及び役員・社員一同、さらなる事故皆無の運転保安業務に取り組む所存でございます。

2006年度 安全目標

「車両・プラットフォーム転倒事故防止」

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 鉄道運転事故

安全目標で述べました通り2006年度につきましては、国土交通省への鉄道運転事故報告はありませんでした。また、発生した場合は、非常事態対策規則により警察・消防・救急関係との連絡を密にし、事故対策本部を設置しこの間は、利用者のみなさまに大変なご迷惑を掛けないう、バスによる代替輸送を行うように心掛けております。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2006年度につきましては、大きな地震、台風等による暴風雨、豪雪による被害は発生しておりません。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

当社では、車両の運行の安全性を維持するため、施設・車両等の保守点検を実施しておりますが、不測の事故や障害などが発生することがあります。2006年度につきましては事故・障害等の件数及び運転を見合わせた時間は下記のとおりです。

第3者障害による事故等(停電)	1件	52分
合 計	1件	52分

(4) インシデント(事故の兆候)

2006年度につきましては国土交通省への報告はございません。

(5) 行政指導等

2006年度につきましては、国土交通省からの指導等はございません。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

安全目標を達成するため、当社では重点安全施策として2006年度は、下記のような項目を実施し安全に心掛けております。

車両(ケーブルカー)

車両に関しましては、2・4号車(レトロタイプ)全般検査(車輪、ブレーキの分解整備及び取替、各設備の点検整備等)を実施いたしました。

また、お客さまに対しまして乗り心地のよいケーブルカーを提供するため防振装置(ダンパー)を取付けました。

施設(線路・巻上機)

施設に関しましては、バラスト道床の整備、橋梁の補修工事等の実施。また、巻上機の自動、手動制動機のブレーキライニングの取替を実施いたしました。

駅施設

駅施設に関しましては、六甲山上駅のプラットホームが急な階段のため、お客さまの負担を軽減するため、手すりの増設工事を実施いたしました。

2006年度の補修項目及び費用は下記のとおりです。

項 目	費用(千円)	備 考
(工務・施設関係)		
バラスト道床整備	1,352	バラスト全長339m
導滑車及び付属部品購入	1,415	
導滑車(輪心)補修	448	
巻上機自動・手動制動機ブレーキライニング取替	300	
地震計点検	12	
橋梁補修	4,800	第9橋梁
(車両関係)		
2・4号車(レトロタイプ)全般検査	4,800	
(電気関係)		
巻上場内電気設備定期検査	2,100	
(駅施設関係)		
六甲山上駅プラットホーム手すり増設	1,500	
六甲山上駅消防設備点検	72	
六甲山上駅用揚水ポンプ点検	90	
両駅アナウンス設備工事費	370	
両駅区画線工事費	250	
その他	537	
合 計	18,046	

2007年度に関しましても、ケーブルカーを引き上げているワイヤーロープ(索条)の交換や2006年度に引続き橋梁補修工事やバラスト道床整備及び3・4号車防振装置の取替等の実施を行う予定です。

(2)人材教育

当社では、みなさまの安全輸送に役立つよう、2ヶ年に一度の適性検査ならびに運転保安教育を行っています。2006年度につきましては、手話講習会、低圧電気業務特別講習の受講や神戸市消防局主催の市民救命士(普通救命コース)を灘消防署におきまして従業員全員が受講しま

した。

(3) 緊急時対応訓練

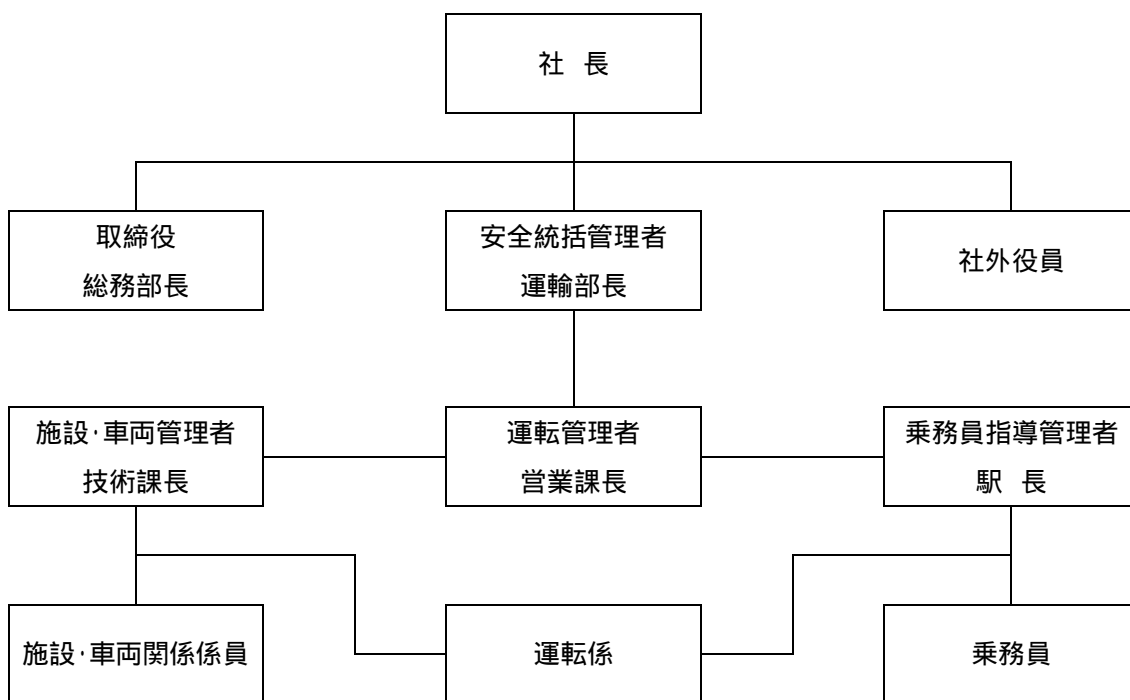
毎年2回以上、運転事故や災害を想定した鉄道事故発生時の処置訓練及び消防訓練を実施しております。

(4) 安全のための投資と支出

安全の維持・向上のため、営業収入の10%を目処に安全関連設備への投資や施設・ケーブルカーの修繕費に充てています。今年度は、安全関連設備と修繕費の総額が約1,804万円(営業収入の10%)になりました。

5. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。また、今年度から安全管理規程に基づき、日々の業務に反映させております。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画に関する事項を統括する。
安全統括管理者 運輸部長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 営業課長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設・車両管理者 技術課長	安全統括管理者の指揮の下、施設・車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 駅 長	運転管理者の指揮の下、運転係及び乗務員の資質の維持に関する事項を管理する。

6. 地元のみなさまとの連携とお願い

(1)「お客さまの声をかたちにしています」

より安全で信頼される鉄道をつくるため、みなさまからのお寄せいただいた声を役立てていきたいと思っております。積極的なご意見を頂ければ幸いです。

(2)「お客さまに親しまれる六甲山をめざして」

観光及びレジャーのみなさまをはじめ、ご利用いただくすべてのお客さまに、安全快適な輸送サービスを提供するため、社長以下従業員一同、目標達成に向かって取り組む所存です。みなさまのご協力、ご愛顧よろしくお願い申し上げます。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先
<p>六甲摩耶鉄道株式会社 運輸部 営業課 神戸市灘区高羽字西山8番地の2 電話 078 - 861 - 5288 FAX 078 - 861 - 4700 E-mail rc-shita@hanshin.co.jp</p>
お問い合わせ時間 9:00～20:00